令和元年度　日本国語教育学会大学部会研究会（第２回）

日　時　令和元年12月14日（土）14時～17時

会　場　早稲田大学 教育学部16号館306教室

アクセス　◇東京メトロ東西線「早稲田」徒歩7分

◇ＪＲ山手線「高田馬場」徒歩20分

◇都電荒川線「早稲田」徒歩7分

テーマ　文学を学ぶということ－新しい学習指導要領を見据えて－

内　容：

　開会挨拶

講演　「文学への愛を語るのは誰か」　幸田国広（早稲田大学）

研究発表

「表現行為そのものの探究へ─創り手と受け手の関係を感じる・考える教室─」

森　大徳（筑波大学附属駒場中・高校）

「文学教材を教えること・学ぶこと―教員養成の現場―」

西　一夫（信州大学）

「記憶から歴史へ―「言語文化」の基層―」

　髙橋龍夫（専修大学）

　研究協議

　閉会挨拶

新しい高校学習指導要領に設定された「言語文化」「文学国語」「古典探究」は文学の学習をどのように示したのでしょうか。今回の研究会では、文学を学ぶことの意義や価値を見直し、その学習の課題や可能性を様々な立場から考える場とします。多くのみなさまの参加をお待ちしています。

参加は無料です。

参加をご希望の方は当日、直接会場においでください。事前登録などは不要です。

学会員以外の方もお誘いいただければ幸いです。

連絡・問い合わせ先

　shimada.yasuyuki.fb@u.tsukuba.ac.jp（島田）